



# たぐすい

TAKUSUI

1999 AUGUST No.514

8

●ズーム●

第25回豊漁祈願祭／神戸市垂水区垂水漁港にて

# COLUMN

◆人が感じる味は、甘・酸・鹹（カン）。苦の四つだといわれている。甘みや酸味、塩辛い味は日常の食品に欠かせないが、苦みは食品の中では好ましくないものと考えられている。しかし、苦さを重要とするものにコーヒーやココアがある。そしてビールのおの味は、ホップを含むフムロンやプルロンという成分によって生まれる。アブサン酒にはニガヨモギが利用されている。オレンジジュースも、ただ甘いだけではもの足りず適度な苦みが重要だ。春、いち早く顔を出すフキノトウの苦みも、それは心地よい春の味と言われている。

◆旬に先駆けて「はしりもの」が膳に彩りを添える。料亭では、一品料理に使う季節を先取りするが、旬に先立って出荷される野菜や果物は、珍しさが身上市であり値打ちでもある。はしりものを尊び、人より早く先鞭をつけることを誇りとしたが、今では貯蔵法や促成技術の進歩で、周年出回るものが多くなり、珍しさの半減したものが増えた。だが「はしりもの」を喜び、初物有難がる気持ちにはそれほど変わっていない。江戸っ子が初カツオに見せた心意気は、日本人に共通の心の意気張りでもある。

◆食べ物はばかりで無く、行事やイベント等も人より早く情報を掴みたいのが常である。橋が架かったと聞けば飛んで行って一番に渡り、道路開通と聞けば徹夜して一番乗りを目指す。一番でなきゃあ価値がないという。土佐に生まれた坂本龍馬には、色々な挿話が伝わっているが、新しい物好きでも有名だった。新婚旅行を初めに実施したり、海援隊というカンパニーを創ったりしたが、好奇心旺盛で流行の先端を泳いで、それを善しとした。現代に生きておれば、携帯電話やパソコン活用のホームペータ処理やパソコン活用、車のドライブに欣喜雀躍したことだろ。四通八達した情報網を喜び「はしりもの」に随喜したろ。新しき物に飛びつき、大胆に取り入れ自己の物とするのは、日本人の最も得意とする早業なのである。（遊方子）

## はしりもの

# 拓水 AUGUST CONTENTS

COLUMN	はしりもの	2
水試ノート	トラフグの陸上養殖について	3
TOPICS	平成11年度兵庫県漁青連・漁婦連合同 通常総会および交流大会を開催／ 平成11年度総会および役員幹事会を開催／ 第14回兵庫県漁業協同組合長懇談会開催／ 兵庫県女性漁業士として新たに2名認定／ ただ今「関西サマーエコスタイルキャンペーン」実施中／	4
ズーム	第25回豊漁祈願祭／ 神戸市垂水区垂水漁港にて	6
栽培漁業センターです		8
海区漁業調整委員会だより 普及員だより	消費者と共に支える地域の漁業	9
旬の美味い話	タコのびっくりやわらか煮	10
兵庫JCC通信	ひょうごのJAグループ「助けあい」 今年も「善意の日」に兵庫米100キロ、 県内児童養護施設に贈呈 第77回国際協同組合デー・兵庫県記念大会報告 くらしといのちの食料問題をテーマに講演	11
TAKUSUI promenade	ぶらり探訪 忠臣蔵の街／赤穂 季節の香 朝の光に映えるアサガオの花… 編集後記	
こちら海ですロケだより	なぜ？なぜ？ 不思議な…クラゲ	

「拓水」は漁協と漁協系統団体を結ぶコミュニケーションの場です。報知したいこと、文芸など。皆さんの投稿は大歓迎いたします。裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。

## 今月の表紙

### フォトギャラリー

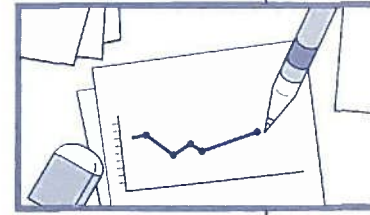


表紙写真  
高尾 暁子さん  
〈明石市在住〉

### フォト歳時記

#### 親亀の背中に：

親の背中を、凝っと見ていると何だか泣けてくる。昔に比べ随分と小さくなっってしまったような…。  
子供が出来て親の恩を知るといふ。子供とは手のかかるものだ。病気をせぬか傷を受けぬかと心遣いは果てがない。  
子は親よりも大きくなって親の手を離れていく。今度は子の背中に負われなければならぬのか。  
嬉しいような悲しいような。親亀の背中に子亀が乗って。こけないようにしなければと。

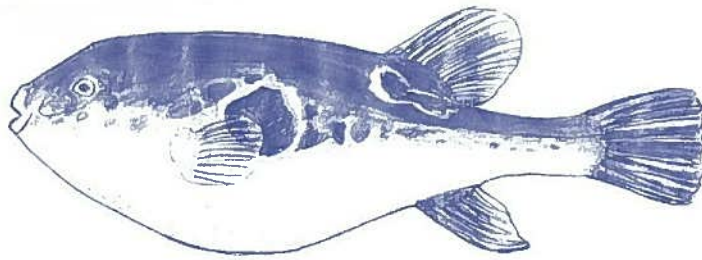


## トラフグの陸上養殖について

兵庫県立水産試験場 増殖部

安信 秀樹

トラフグは比較的高値で取り引きされることから、養殖対象魚として注目され、海上に設置された生け簀で養殖が行われ、全国でおよそ四千トンが生産されています。その一方で、魚病被害も多くなってきました。トラフグに発生する疾病の多くは、病気にかかったトラフグを早期に



トラフグ (フグ目フグ科トラフグ属)  
イラスト：(遊)

取り上げることや、飼育管理を徹底することにより被害を軽減することができ、すが、海が荒れた日などはそのような対策がとれず、被害が大きくなってしまう。

養殖の形態としては前述の海面生け簀によるものと、陸上水槽によるものの二種類があります。陸上に設置した水槽にポンプで汲み上げた海水を注いで養殖を行うものを一般に陸上養殖といい、陸上養殖されている魚の代表がヒラメです。

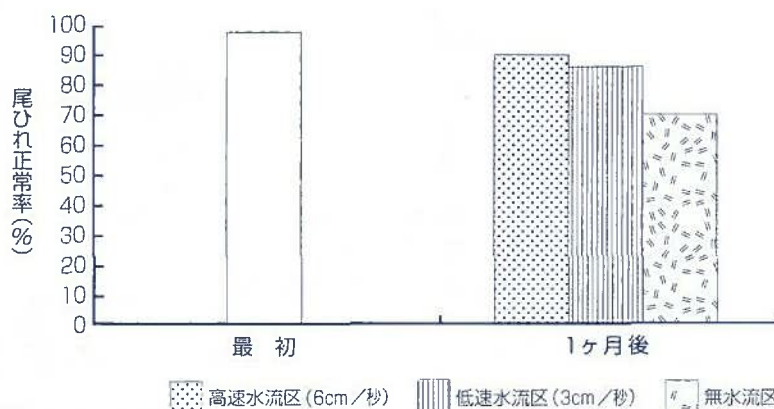
陸上養殖は海面生け簀に比べ、飼育管理が徹底できるところにメリットがありますが、土地代、施設代および電気代等の費用がかかるため、養殖しようとする魚を比較的高密度に飼育する必要があります。ヒラメはその条件をクリアしていますが、トラフグはそれができません。なぜならトラフグにはかみ合う性質があるからです。トラフグを高密度に飼えば飼うほど、かみ合いはひどくなります。

前述のようにトラフグは陸上養殖することで疾病被害を軽減できるため、かみ合いを抑制する飼育方法について検討してみました。その結果、水流を一定方向に起こすことで、かみ合いが軽減するこ

とがわかりました。図一はその結果を示したものです。実験はおよそ三グラムのトラフグの稚魚を二トンの長円形水槽に二〇〇尾ずつ収容し、一定方向に高速水流を起こした試験区、低速水流を起こした試験区および起こさない試験区(無水流区)を設け、配合飼料を与えて飼育しました。試験開始時は尾ひれはほとんどかまれておらず、尾ひれ正常率はほぼ一〇〇%でした。そして飼育一ヶ月後には無水流区で尾ひれ正常率が七〇%に低下しましたが、高速水流区では尾ひれ正常率は九〇%、低速水流区で八六%と依然と高い値を示しました。このように、水流を起こすことでかみ合いが軽減できることが明らかになりました。また、いろいろ調べていくうちに、水流はトラフグのかみ合いを軽減するだけでなく、死亡尾数を減らす効果や成長を良くする効果も認められることがわかってきました。

以上のように、水流はトラフグに様々な良い結果をもたらすことがわかりましたが、水流だけではかみ合いは抑え切れません。したがって、海面生け簀で行われているような、菌の切除や飼料添加物の投与などを組み合わせることが必要と

図1 異なる流速で飼育したトラフグの尾ひれの状況



なります。これらに加えて陸上養殖の強みである徹底した飼育管理を行えば、かみ合いによる尾ひれの欠損がなく、疾病の発生の少ない良質なトラフグができることが期待できます。

## 平成十一年度兵庫県 漁青連・漁婦連合同 通常総会および交流 大会を開催！

去る六月二十六日(土)、県立水産会館大会議室において、平成十一年度兵庫県漁青連・漁婦連合同通常総会および交流大会が開催された。合同による通常総会は今回が初めての試みで、会員約百四十名、来賓に佐野漁場資源管理室長、小川県漁連会長、木下信漁連会長はじめ多数の臨席を頂いての開催となった。

香住漁協青壮年部の川崎美治氏が司会をつとめ、はじめに星尾漁青連会長と大里漁婦連会長が挨拶を述べ、続いて来賓から祝辞を頂いた。次に星尾会長の指名により、香住漁協婦人部の北村瑞江氏を議長に選出、議事進行がなされ漁青連と漁婦連の議案説明が交互に行われた。

まず第一号議案、事業報告書、貸借対照表、収支決算書並びに剰余金処分案と監査



祝辞を述べる、小川県漁連会長

報告があり、審議にうつり異議無しの声で採決に入り、可決承認された。第二号議案、平成十一年度事業計画書および収支予算案について説明、第三号議案の会費賦課額および徴収方法決定の件と併せて一括上程され、異議無しの声で採決が諮られ可決承認された。

次に第四号議案の任期満了による役員改選の件が、各地区で推薦された役員候補名簿により上程され、拍手による採決がなされて可決承認。総会終了後に別室で理事による互選の結果、新役員が以下のように決定された。

◆漁青連・会長／成瀬和(炬口)、副会長／上谷正二(坊勢)・川崎美治(香住町) 監事／磯部公一(室津)・小西孝幸(富島)の各氏。

◆漁婦連・会長／大里千枝子(西二見)、副会長／前田まつ子(神戸市)・森武美(福良)・北村瑞江(香住町)・監事／糸谷敏子(兵庫)・高須隆(伊保)・平石きょう子(湊)・三門順子(津居山港)の各氏。

午後の交流会は、記念講演として(有)水環境総合研究所の渡邊成信取締役社長による「資源管理と環境保全」と神戸漁業無線局通信士の石坂紀夫氏による「緊急無線について」の二つの講話を拝聴した。渡邊氏の講演では、今、地球環境が大きな社会問題となっている中、海も化学物質などで汚染が広がり、魚に異変をもたらしており、海の生態系にとって危機を迎えた状況にある。また合成洗剤がいかに有害であるか事例をあげての解説があり、海の環境保全について、身近なゴミ処理方法など、生活の改善を強く訴えられた。

また、神戸漁業無線局の石坂氏の講演は、通信の原則は「相手が必要／相手の使用周波数が判っていること／相手がその周波数を聞いていること」が必要条件であるという

**電波は限りある資源  
正しい使用がルールです。**

「電波」や社会に迷惑な  
不法行為を  
追放しましょう。

DENPA

電波監/電波環境保護協力会



通常総会の様子

話から、趣味のはなし等を交えて親しみ易く語られ、地味ではあるが無線通信という役目の重要性を熱心に話された。無線も限りある資源であり、正しい使用ルールを厳守することが大切だと思われる。ともに漁業者にとっては、極めて身近な話題であり参加者も熱心に耳を傾けていた。

## 平成十一年度総会及び 役員・幹事会を開催！ ：瀬戸内海漁場環境保全対 策連絡会

去る七月八日、福岡市中央区のパーソナルホテルリユウ大安の間において、瀬戸内海漁場環境保全対策連絡会の総会及び役員・幹事会を開催した。昭和五十八年に設立された当連絡会は、毎年度の総会等の開催場所を持ち回りとし、本年度は福岡県での開催となった。全漁連から三次副調査役、(社)瀬戸内海環境保全協会から寺畑常務／福智事務局長、(財)漁場油濁被害救済基金から坂本参与の出席を仰ぎ、兵庫、和歌山、岡山、山口、愛媛、福岡、大分県漁連の幹事が集合しての開催となった。

まず、連絡会会長の壽兵庫漁連専務理事の開会挨拶のあと、会長を議長として議事に入り、事務局(兵庫県漁連)から議案について説明した。第一号議案／平成十年

度の事業報告並びに収支決算の承認に関する件を上程し、原案通り可決承認され、第二号議案／平成十一年度の事業計画並びに収支予算の設定に関する件、第三号議案／分担金に関する件は一括上程の結果、原案通り可決承認された。次に第四号議案／任期満了に伴う役員改選の件を上程、以下のとおり決定承認された。

会 長 壽 進 兵庫県漁連専務理事  
副会長 二宮 英二 愛媛県漁連専務理事  
監 事 金子 信義 山口県漁連専務理事  
監 事 橋本 直広 大分県漁連専務理事

続いて、役員・幹事会を開き平成十一年度の事業内容の検討に移り、平成十一年度啓発用印刷物について、「油濁防止啓発用ポスター」の作成を決定した。配布部数は千五百部の予定。また、合同研修会は愛媛県で十月頃に、赤潮情報担当者会議は香川県で十一月頃に開催することを決定した。その他に瀬戸内海環境保全協会から「瀬戸内海スナメリ発見情報プロジェクト実践事業について」と「瀬戸内海における内分秘攪乱物質（環境ホルモン）の実態把握及び環境影響調査について」を説明し、(財)漁場油濁被害救済基金から事業概要について説明があった。



挨拶する壽会長（兵庫県漁連専務理事）

## 第十四回兵庫県漁業 協同組合長懇談会開催！

（県漁連）

県漁連では、去る七月二十七日（火）神戸市垂水区の舞子ピラにおいて、第十四回

兵庫県漁業協同組合長懇談会を開催した。これは兵庫県下の漁業協同組合長等が一堂に会し、水産業界の懸案事項等について協議し、組合運営の一助にしようとするもので、本年は水産経済経営研究所から松下晃一代表を講師に招き「漁協経営を考える」をテーマに基調講演を頂いた。パネルディスカッションではパネリストに東二見・育波



パネルディスカッションの様子

浦・柴山港の各組合長、県水産課長・県漁連専務の五名が意見を述べ、また会場からも意見が寄せられた。コーディネーターの松下講師からは、これからこの漁協経営の方向性として「自由競争社会での純経済行為が『協同』精神と両立できるかとの問いかけを基本に、多数の『弱小』を少数の『弱大』に転換するだけの合併であったのではない」と、力説された。造詣の深い先生の講演と引き続いてのディスカッションが、今後の組合運営に役立つことになれば、ひいては本県水産業の発展へと結実するのではないだろうか。

## 兵庫県女性漁業士として 新たに2名認定！

去る七月十九日付けで新たに認定される女性漁業士・女性農業士についての発表がありました。

兵庫県では、活力ある農漁村社会を目指すし、地域農林水産業の振興と農漁村青少年の指導的役割を果たす農漁村女性リーダーとして、農漁村生活の向上と農漁村女性の社会的評価を高め、農林水産業・農山漁村の振興発展に寄与するため、平成元年から兵庫県女性農業士・女性漁業士認定制度が

設けられていますが、このたび、女性農業士に十九名、女性漁業士に二名の方々が認定されました。今後のご活躍に期待したいものです。  
認定された女性漁業士は次の方々（敬称略）  
◆伊保漁協 高谷かつみ  
◆浜坂町漁協 加藤千鶴子

## ただ今「関西サマーエコスタイルキャンペーン」実施中！



キャンペーン期間  
平成11年7月12日  
～9月11日

# タイ涼



職場やビジネス活動では軽装に努め、室内は「**適正冷房**」を徹底しよう！  
◆例えば…上着を着用しない、ノーネクタイに努める等

### 適正冷房の基準

- ◆対象施設 事業所等の執務室や会議室
- ◆適正温度 概ね28℃以上

※兵庫県エネルギー対策推進本部資料より抜粋



ズーム

# 第二十五回 豊漁祈願祭

## 神戸市垂水区垂水漁港にて

マダイ・ヒラメなど

稚魚一万五千尾余を放流



元気に育ってほしいと祈りを込めて…



祭詞を奏上する小川県漁連会長

◆永遠の豊漁と漁業操業の安全を  
祈願する豊漁祈願祭開催！

去る七月二十八日

(水)、県漁連の主催により、第二十五回豊漁祈願祭が、神戸市垂水区垂水漁港において、兵庫県知事をはじめ多数の来賓および県下各地から漁業関係者三百五十余名の参列のもと、盛大に開催されました。

行事は陸上と海上の二部に分かれており、午前十時、陸上行事の開式。海神社



海上放魚のようす

の宮司により、神事は厳肅な雰囲気の中、修祓に始まり、降神の儀、祝詞奏上と続き、小川県漁連会長より祭詞が奏上され全員が祈りを捧げました。順位に従い玉串奉奠を行い、昇神の儀で神事を終了。そのあと、県漁連会長の挨拶、来賓の祝辞、祝電披露と続きました。

次に舞台を海上へ移し、県取締船「はやたか」、水産庁漁業取締船「せとうち」および県立水産試験場調査船「ひょうご・ちどり」、神戸市漁協調査船「第2こうべ丸」の五隻の放魚船に参加者が分乗しての海上神事は、あいにくの海上時化のため一文字波止まで航行し、マダイ稚魚(体長約5cm)九千尾、ヒラメ稚魚(体長約20cm)千尾

やマダイ成魚十尾などを放流したのち、県  
議会議員平沢先生の発声により、貴重な資

源の繁殖を念じて万歳三唱が行われました。

### ◆次代を担う子供たちに漁業資源の 大切さを知って欲しい!

海上行事と並行して陸上では、地元の神  
戸市立垂水小学校の生徒(約五十名)によ  
る岸壁放流が行われました。放流する稚魚  
は、明石市南二見の栽培漁業センターで孵

化した稚マダイ約千尾。朝早くこの地へ運  
ばれた稚魚は、岸壁に設置した水槽から子  
供たちが手にする容器へ移され、次々に港  
の中へ放流されました。稚

魚を間近に見る  
のは初めていう  
子供も多く、自  
分の手で放流し  
たことが、夏休  
みの貴重な体験  
になることと思  
われます。

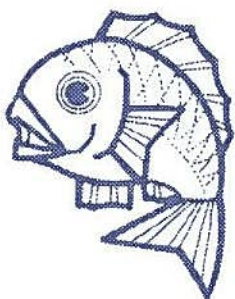
と海洋国としての繁栄を、  
より広く理解する機会にな  
れはと思います。私たちは、  
国民への蛋白食料供給の重  
要な担い手であるという自  
負と誇りをもって、漁業界  
のますますの発展を願い、但  
馬海域、瀬戸内海海域での、  
今後の豊漁と漁業操業の安  
全を祈念してやみません。



国民の祝日  
「海の日」が七  
月十日に決まっ  
て、第四回目を  
迎えました。海  
への感心が高  
まっている中で  
執り行う、この  
豊漁祈願祭が海  
の恵みへの感謝



子供たちによる  
岸壁放流



◆クルマエビ種苗生産について◆

ここ津名事業場では五月下旬にクルマエビの種苗生産を開始しました。今回はそのクルマエビ種苗生産についての話です。

生産は卵を採るための親エビの確保から始まります。採卵には天然の親を使用するので、その日漁獲されたクルマエビの中からこれかと思うものを厳選、購入してきます。ここで、面白いのは、購入するのは雌だけで、雄を全く購入しないことです。雄不要、なのですがクルマエビが雌だけで子孫を残せるということではありません。雌は産卵する数週間から数カ月前に外海で交尾をすませており、貯精嚢という部分に精子を蓄えています。それで雌は産卵時に泳ぎながら卵と蓄えていた精子の放出を同時に行い受精をさせることができます。このようなことから親エビ購入の際には、活きのよい十分に抱卵した雌だけ選別してきます。事業場に運び込まれた親エビは、その夜、職員が帰って静かになった水槽で産卵します。卵は翌朝回収され、病気など

の問題がなければ飼育水槽に收容されます。この收容時にウイルス感染した卵を入れないように、県の水産試験場でウイルス検査してもらっています。

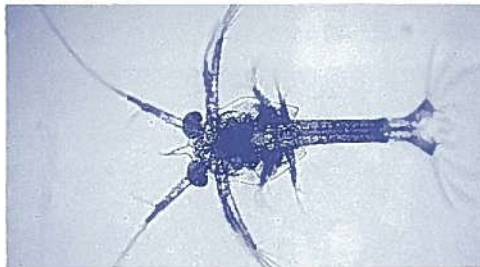
こうして検査を通過して收容された卵は、その日の日暮れ頃に孵化し、ノープリウスと呼ばれるダニのような姿の幼生となって泳ぎ出します。ノープリウスは摂餌することなく六回脱皮して、今度はポウフラのような姿のゾエアに変態します。その後、脱皮を繰り返して何とかエビだとわかるミスに変態し、さらにポストラー

バと呼ばれる期を経てお馴染みのクルマエビになっていくのです。現在当事業場では約一千万尾のポストラーバが育てています。

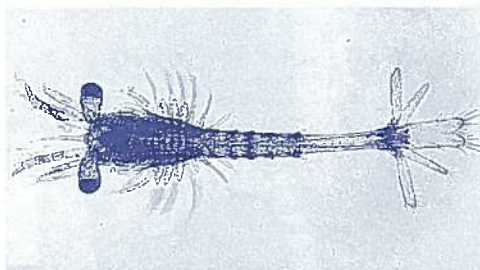
さて、二見と但馬の状況ですが、二見の栽培漁業センターでは七月八日にマダムの配布が終了し、ガザミの配布を順次行っております。また、この他オニオコゼの生産試験が始まりました。但馬栽培漁業センターではアワビ、マダムの配布を終え、サザエの種苗生産が始まっています。(兵裁協 為後 智康)



殻を破って飛び出したノープリウス(1齢)体長約0.3mm



ゾエア(2齢)体長約1.6mm



ミス(2齢)体長約4mm

HYOGO PREF. MARICULTURE CENTER

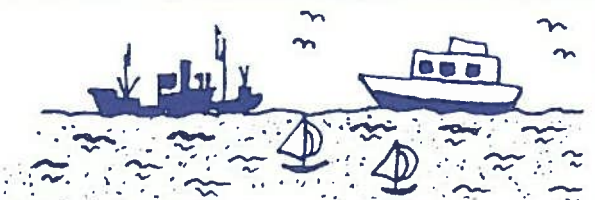
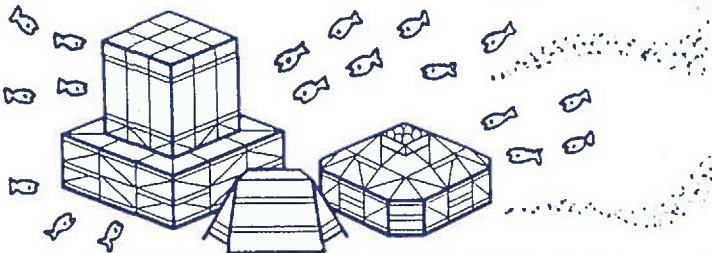
栽培漁業センターです

131

躍動する海

活動する

鋼製魚礁 神鋼



神戸製鋼グループの魚礁メーカー

神鋼建材工業株式会社

本社 〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町46-1

大阪支店 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2

丁目6-17(大阪神鋼ビル)

海洋製品室 TEL (06) 6206-7440

FAX (06) 6222-4904



## 海区漁業調整 委員会だより

六月二十五日

第二百四十一回兵庫県瀬戸  
内海海区漁業調整委員会及  
び委員協議会を兵庫県中央  
労働センターで開催

(委員会)

・瀬戸内海における小型機船底び  
き網漁業の許可方針の一部改正  
について(諮問)

このことについて審議の結果、  
原案どおり改正することに異議  
がない旨答申することに決定し  
た。

改正点は、大阪湾における板  
びき網漁業の作業時間を「午後  
三時三十分から翌日午前三時三  
十分に至る間は、作業してはな  
らない」に変更することである。

(委員協議会)

・海面遊漁規則に係る意見につ

いて(報告)

水産庁において検討されてい  
る規則例に係る本県からの意見  
書について、水産課から報告が  
行われた。

現在、海面遊漁に関する規制  
は都道府県漁業調整規則により  
行われているが、水産庁では海  
面遊漁に関する現行の規制を見  
直すため、海面遊漁規則(仮称  
例を示し、このたびこの規則例  
(検討素案)に対する県の意見  
が求められていた。

◇ ◇ ◇

六月二十八日

但馬海区漁業調整委員会委  
員協議会を香住町漁業協同  
組合役員会議室で開催

一、小型機船底びき網漁業(手繰  
第一種漁業)の許認可取扱方針  
について

当該方針案について事前協議  
がなされ、原案どおりで特に支

障のないことを確認。

二、せん漁業(べにずわいがにか  
ご漁業)の許認可取扱方針につ  
いて

当該方針案について事前協議  
がなされ、原案どおりで特に支  
障のないことを確認。

三、海面遊漁規則に関する県の意  
見の回答内容等について

県の意見の回答内容等が報告  
され、今後機会のあるごとに海  
面遊漁規則の導入に向けて検討  
していくことを申し合わせた。

四、全国海区漁業調整委員会事務  
局長会議の概要について

当該会議の概要について報告  
がなされた。

五、全漁調達日本海ブロック会議  
の提案テーマについて

協議の結果、「日韓漁業暫定  
水域における漁業秩序の確立と  
日本国EEZ内における外国漁  
船の取締強化について」という  
テーマで提案することを決定。



普及員だより

## 消費者と共に 支える地域の漁業

—消費者の現地学習会開催—

相生・赤穂地域の漁業は力キの養殖が盛ん  
ですが、地元市民にはその生産の状況があまり  
知られていません。特産物は地元の人々に

愛されてこそ定着していくものです。

赤穂市では、平成9年度から地域でとれる  
農水産物を地域の人々に食べてもらい、愛さ  
れるファンづくりの活動を進め、まず地元か  
ら消費拡大を図っています。これは、市内の  
消費者を募り、赤穂市でとれる農水産物の生  
産状況・流通を学び、作業体験等を通じて  
「身土不二」の精神を実践してもらう取り組  
みです。

平成10年度は、「力キの生産現場ウ  
オッチング」を実施しました。坂越漁  
協担当者から力キの生産状況を聞き、  
その後殻むき作業の見学と体験さらに  
焼き力キ試食のおまけまで付き、身近  
で生産されている力キについての認識  
を深めました。

市内の消費者といえども、普段地元  
の力キを食べていても、実際の作業を

見たり経験するのは初めての人が多く、真剣  
な学習会でした。

参加した人は、同じ食材でも地元産への愛  
着が増し、それらを生産する海の環境美化等  
の重要性も認識した有意義な一日でした。

今後も生産者と消費者が共に支える漁業生  
産を実践していきたいものです。

(上郡農業改良普及センター 谷口喜代子)



◆材料・分量◆

たこ……………中1匹  
調味料  
かつお……………10g

だし汁……………300cc  
タンサン……………少々  
しょう油……………100cc  
黒砂糖……………100g～150g  
酒……………200cc

一口メモ

生たこ(中位の大きさ)のゆがき方

- ・黒べを取り除く。
- ・たこに塩をかけぬめりをもんで取る。洗い流す。
- ・足と足の間一ヶ所に切れ目を入れる。
- ・鍋に水2ℓを入れ沸騰させ、しょうゆ大きさ1入れる。たこを足から入れる。
- ・約10分ゆがきザルにあげる。

- ▼作り方▲
- ①たこはすりこぎ等でまな板の上で十分程たたく。
  - ②しょう油等の調味料を沸騰させ、適当に切ったたこを入れ再び沸騰させてから、一時間程中火より少し小さめの火力で煮る。

●たこのびっくりやわらか煮●



摂津地区漁協婦人部連合会刊「こうべのお魚料理」から

旬の美味しい話 74



兵庫JCC通信  
今、JA・生協では



第77回国際協同組合デー・兵庫県記念大会報告  
「くらしといのちの食料問題」をテーマに講演

七月二日(金)、コープこうべ生活文化センターホールで、兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)が組織する生協、農協、漁協、森林組合の主催により、第七十七回国際協同組合デー・兵庫県記念大会が開催されました。これは、毎年七月の第一土曜日に、世界の協同組合にかかわる人々が、平和とよりよい生活をめざして協同組合運動の前進を誓い合うものです。

この日は梅雨時にもかかわらず、兵庫県、神戸市をはじめ、多くの来賓と、約四百名の参加者で会場は満場となりました。

記念式典では、主催四団体を代表して、小川守男兵庫漁業協同組合連合会代表理事会長の挨拶の後、貝原俊兵兵庫県知事(代読)、および笹山幸俊神戸市長(代読)からも祝辞をいただきました。

その後、「協同が息づく地域社会づくり」と題して兵庫JCC宣言が、堀江とし子兵庫県JA女性協議会副会長より読み上げられました。第二部の記念講演では、NHK解説委員の中

ひょうごのJAグループ「助けあい」  
今年も「善意の日」に兵庫米100キロ、  
県内児童養護施設に贈呈



助けあいの心を兵庫米に託して、JAグループの代表からお米を贈呈する

兵庫県が昭和三十九年(一九六四年)に定めた(善意の日)の六月一日、ひょうごのJAグループから、県内の児童養護施設に対して兵庫米百キロを贈呈しました。

この取り組みは、「善意の日」の助けあい活動の一環として毎年JAグループが県内の福祉施設などにお米をはじめとする農産物を届けて

村踏彦氏が「くらしといのちの食料問題」と題して講演されました。

一九六一年に制定された農業基本法を時代にあったものに改正した食料農業農村基本法が国会で審議されており、その中で、国内自給率の目標設定をすること、また食品の表示についても消費者がわかるように、原産国表示や第三者が認定する形での有機農産物表示をすべきといった、わたしたちの生活に密着した食の密話を、地球的視野からわかりやすく話されました。



いるもので、今年は、西宮市鳴尾町の「三光塾」、尼崎市若王子の「神戸婦人同協会子どもの家」の二か所の児童養護施設に、JAグループを代表して地元JAからそれぞれ兵庫米五十キロを手渡しました。

JAにのみや西本信二金融共済部長からお米を受け取った「三光塾」有田昌雄施設長代理は、「立施設では現在約四十名の子どもが生活しており、施設では、子どもの権利を考える活動を行っています。施設内の活動だけではなく、対外的にも働きかけていきたい」とお礼のことがありました。

また、JA尼崎市竹島良和副組合長が訪れた「神戸婦人同協会子どもの家」名嶋満施設長からは、「様々な方に支えられてこそ施設の運営が成り立っています。福祉活動を今後とも続けて下さい」とJAグループに対する感謝と今後の助け合い活動への取り組みに期待することは寄せられました。

## ぶらり探訪

### 忠臣蔵の町／赤穂

赤穂市 市内

◆赤穂は天下の清流として知られる千種川の河口に広がる町である。元禄時代、主君の仇を討ったとして名を馳せた浅野家五万三千石の城下町。JR播

州赤穂駅を下りた加里屋通りの家並は、しっとりとした時代色があって、その佇まいは心の故郷とも言えそうな感じがする。城下町の完成は浅野長道の治世下だったそ



◆朝の光に映えるアサガオの花…

撮影：高尾 暁子(明石市在住)

うで、実際には播磨一円を支配した池田輝政の代官／垂水半左衛門が、その町割りや上水道を手掛けたという。この上水道は天下の三水道とも呼ばれる立派なもので、現代に受け継がれているのである。

◆元禄の世、江戸城内の刃傷沙汰に端を発した多数の浪士による討入りは「忠臣蔵」として知られているが、その暴挙とも言える壮烈な乱入殺傷沙汰

が、当時の庶民に義挙として喝采をもって迎えられた。その背景には専制君主だった徳川綱吉に対する不平不満があったようで、事件は浄瑠璃に仕立てられ歌舞伎の「仮名手本忠臣蔵」が作られる。芝居は大当たりし、浮世絵に刷られ、赤穂義士は全国ブランドになっていく。日本人の心をとらえて離さない忠臣蔵への思いは、この頃から既に熱いものがあつたようだ。興業界では「企画に詰れば忠臣蔵」というジンクスがあつたが、映画や演劇の世界で救世主と言われ、何度も映画になって物語はすっかり知っているのに、また見に行くという、そんな妖しい魅力が忠臣蔵にはあるようだ。

◆城に天守閣はないけれど、広い城跡を散策すると遠い元禄の昔に立ち戻り、長屋の辺りから堀部安兵衛がひょっこりと顔を出すような錯覚を起こす。主君の長矩(ながのり)公は癪癪持ちだったというが、江戸の城中で一体何があつたのだろうか。何故、刃傷沙汰が起きたのか。その原因はしかとは判らないらしいが、その翌年に大挙して住居侵入のうえ殺傷行為がなされたのは事実であり、それが今は観光材料として息づいているのだから不思議と言えば不思議なことだ。彼らの眠る墓所への参詣人は絶えず、墓域一帯は線香の匂いに包まれており、大河ドラマになって、さらに人気が増したようだ。

## 編集後記

- ◆暑中御見舞い申し上げます。表紙は明石のボタン寺でのショット。池の水も温くなる強烈な日差し。暑い季節は水が恋しいが、事故のないように祈るのみ。
- ◆小さなマダイが小学生の手で港に放され、沖では神官に導かれて海上でも放魚。荒天のなかで執り行われた豊漁祈願祭。元気で早く大きくなあれ。
- ◆「栽培漁業センターです」は、380号からの連載。既に130回を超えましたが、栽培漁業も定着し、中間育成した魚は、食卓にも並べられているはず…。(遊)

登場回数は夥しく、沢山の名優が主役をこなした忠臣蔵はますます名を成すが、大石内蔵助という優れた統率者がいたことが浪士たちに幸いしたようだ。冷静沈着に準備し、同盟の浪士たちの手綱を取って見事な手配りにより、自分たちの行為を成功裏に収めたのである。しかも主君の仇討ちのみに終わらせず、幕府批判への行為ともとれる押し出しがあつた。もし、この殺傷行為が失敗に終わっていたら、ただの押し込み夜盗と評判は下落したことになる。

◆吉良邸に討ち入ったのは四十六人とする説と、四十七人だったという説がある。問題の一人は寺坂吉右衛門信行で、討入り数日後、義士たちは悉く切腹の処断をうけるが、彼一人は討入り直後に失踪し生き延びて天寿を全うしたと伝えられている。討入り直後に、大石内蔵助から世間の毀誉(きよと)に対し、生き証人になれという遠謀深慮の策による逃亡だったというのが後者の考え方とか。吉右衛門は生涯子細を語らなかつたというが、大石神社木像館にある彼の人形だけが、少し後ろを振り向いていて何か寂しげに見える。(遊)

# テレビの こちら 海です



みんなで子供に返ったような（クラゲ）と



水クラゲをゲット大喜びの Reporter



武田さんのクラゲ取り新兵器登場

【'99年7月4日放送

第1136回】

## 口ケだより

なぜ?なぜ? 不思議な・・・クラゲ〈神戸市より〉

世界に約三千種、日本近海にも三百種程が棲んでいると云つゝ（25頁）。寒天状の傘を開いたり閉じたりしながら、波間を漂うように生きていて不思議な生物です。その形状から英語でシエリフィッシュと命名され、漢字では水母とも海月とも書くなかなかファンタジックな生き物です。須磨の海岸で採取できるクラゲを季節展示している須磨海浜水族園でも密かな人気者です。傘の大きさも三㎝程のものから1mもの大きさの物、足の長さを入ると、食用にされる越前クラゲや備前クラゲのように四m・百五十kgにもなる物等実に様々です。今回はこの不思議なクラゲにチョット迫ってみました。

（フリクラゲ）は三㎝程の楕円形をした野菜のウリに似た形のクラゲです。細かな櫛板と呼ばれる繊毛を動かして泳いでいますが、水族園の展示水槽でライトを浴びて泳いでいる姿は、絨毛が七色に変化し、まるで宇宙船のようにも見えウツリ見惚れる美しさ。三㎝程の傘が豆電球のように見えるユーモラスな、トフラインクラゲ、危険を察知するとまるで蝶のようにヒラヒラと舞うように泳ぐ、その名もチョウクラゲ。海は造形の天才とよく云われますが、その通り。少し扁平な十㎝程の傘に紅茶色の十六本の放射状の模様が小さなパラソルのようで、長い触手に強い毒性のあるアカクラゲ。このよく見かけるアカクラゲは、乾燥した粉末が鼻孔に入るのとハクシヨウが止まらないのでハクシヨウクラゲとも、戦国時代、真田幸村がこのクラゲの特性を敵への攻撃に使ったところからサナダクラゲとも呼ばれる等様々の名が付けられたクラゲです。

さて、クラゲは何の仲間なのでしょうか。クラゲはプランクトン的一种で、刺胞動物と有櫛（ゆうしつ）動物に分類され、イソギンチャクやサンゴの仲間、形は円筒状で内側と外側の二層の細胞層から出来て、簡単な腸を持ち、口の周りに触手のある腔腸動物と云われるグループに属しています。

一般的なミスクラゲで構造を見てみると、ミスクラゲを傘（上）の方から見ると、真ん中の四葉のクローバーの様な模様（実は近くに生殖器のある腸のようなもの）が特徴です。傘は八枚の花びらを重ねたような形で一つ一つの間の凹んだ所が感覚器、明暗程度が識別出来る眼点です。傘の周りには長い睫のような触手が並び、その奥に細かな、毒針（刺糸）毒液を貯えた刺胞のうと云う棘のようなものが並んでいます。プランクトン等の食物が近付くとこの針から毒液を出して麻痺させ餌としているのです。そこでクラゲを逆さに見ましよう。真ん中が口、その周りにレースのようなヒラヒラがありますが、そこから出ている四本の長い腕が口腕（こうわん）と云って、触手で集められた餌を受け取り口に運ぶ役目をしていきます。口に運ばれた餌は簡単な胃腔を通過して、上から見た時クローバーの形に見えた胃状（胃糸）の所に運ばれ、消化すると全体を放射状に走る白い筋の放射管を通過して栄養分が体に回る構造になっています。肛門がないので餌のカスは又口から排出されます。

繁殖も受精して繁殖する方法と自ら草の根のように増える異なった生殖方法を持つ面白い生き物です。化石で一番古いものは六億年前、クラゲはそれから現在までほとんど姿を変えないで生きてきた本当に不思議な生き物なのです。

1999年8月10日発行 通巻514号  
昭和32年10月18日 第3種郵便物認可

発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会

〒652-3444 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 652-3444 定価80円（本体76円）  
FAX 671-6685